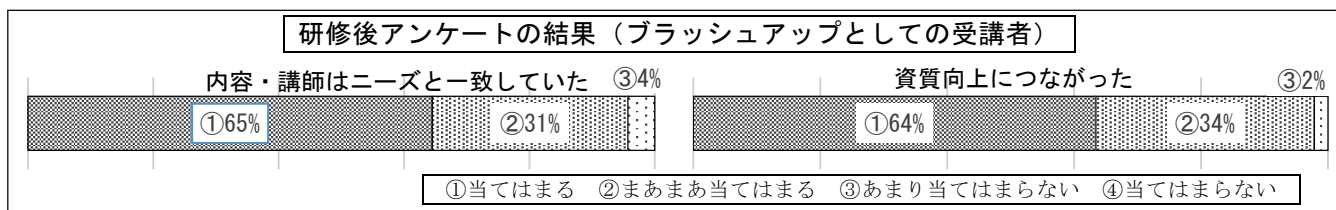


【新規】ブラッシュアップ研修（資質充実研修）の実施状況

今年度より、指標の自己評価から、学び直したい資質・能力を補ったり、さらに伸ばしたい資質・能力の専門性をより高めたりする研修として、ブラッシュアップ研修を設定しました。表の通り13の研修会を開催したところ、93名の参加がありました。とりわけ『特別の教科 道徳』指導に関する研修会「特別な支援を必要とする児童生徒に関する研修会」の希望者が多く、道徳教育や特別支援教育に対する先生方の関心の高さが感じられました。

研修の満足度は、肯定的な回答が9割以上と大変高くなっています。これは、研修内容に対する受講者の意識が高かったからだと考えます。来年度もブラッシュアップ研修を設定します。多くの方の受講をお待ちしております。

特別支援教育研修会Ⅰ
特別支援教育研修会Ⅱ
幼児教育から学ぶ講演会
家庭との連携に関する研修会
カリキュラム・マネジメントに関する研修会
学級経営に関する研修会
カウンセリング講座
授業リフレクション研修会
I C T活用・授業力UP研修会
「特別の教科 道徳」指導に関する研修会
児童生徒理解研修会
特別な支援を必要とする児童生徒に関する研修会
授業づくりに関する研修会



校内研修の充実を目指して…「研究員研究」

今年度は8名の研究員の先生方と「校内研修の充実に関する研究Ⅰ」を進めています。これまでの3回の研修会では、各学校の校内研修について情報交換を行い、さらなる工夫・改善ができないかを検討しました。また、互いの校内研修を参観する機会を設け、普段はなかなか見ることのできない他校の校内研修の様子を参観しました。そのときの校内研修の様子を紹介します。

【A小学校】授業事後研修会

- ・学年で単元を決め、指導案検討を行う。教材イメージ図、単元構造図、単元構想は、共有して授業を行う。
- ・毎週木曜日の6限を研修に当てる。
- ・木曜日以外でも、授業公開があった日には、適宜部会を行う（週予定黒板に部会研修を位置づける）。
- ・授業観察や事後研修では、教師の手立ての善し悪しを話し合うのではなく、子どもの発言の意図等を解釈し、子どもを捉える目を鍛える。



【B小学校】若手研修会

- ・若手研修に親しみやすい名称をつける。
- ・研修を「受けるもの」という意識ではなく、「自ら学ぶもの」とするために、若手に対して、中堅・ベテランが指導する形ではなく、若手同士で話し合い、学び合う場とする。
- ・主務者を輪番制で決め、主務者がテーマ設定をしたり、自分の悩みを相談したりする。テーマは、参加者に事前に伝えておく、考えや実践をもって参加できるようにする。



研究員の先生方は、互いに刺激を受けながら、校内研修が充実するための方策をいろいろと考え、実践を試しておられます。今年度の研究の成果は、各校へ配付する研究集録をご覧ください。